

## みなぎるパワー！あふれる笑顔！！輝け！！ ～It's my soul!!～

7月4日、『みなぎるパワー！あふれる笑顔！！輝け！！～It's my soul!!～』をテーマに、こども園ひがしどおりの第4回運動会が開催され、会場となった東通村体育館は、園児209名の元気と、我が子を応援する保護者の熱気に包まれました。

今年もマーチングバンドの迫力ある演奏で園児たちが入場。全員が個性いっぱい走り抜けた徒競走のあとは、年齢に合わせて障害走や遊戯、親子競技が行われました。1歳児の10m走や2歳児の障害走では会場が和やかな雰囲気になり、5歳児全員がつないだりレーでは、最後までつれたデッドヒートに会場中の視線が釘づけ。最後の種目では、5歳児が息を合わせて巨大なバルーンを操り、曲に合わせて大きくしたり小さくしたり、きれいな紙ふぶきを舞い上げて、ひときわ大きな歓声に包まれました。

この日のためにたくさんの練習を重ねてきた園児たち。泣いて笑って走って踊って、最後まで一生懸命な園児たちの姿に、会場からは応援の声と歓声が沸き上がり、大漁旗が舞う一幕もありました。



## おいしさの秘密。 育てる大変さと収穫の喜びを学習

7月13日、東通小学校4年生の児童が、総合学習で東通村の食を学ぶため、「あべらベリー苑」（上田屋 畑中智子さん）と、「村田農園」（上田屋 村田睦夫さん）を訪れました。

「あべらベリー苑」では、苑内に34品種もあるブルーベリーの大きさや味の違い、大きな防鳥ネットを設置したり、無農薬で栽培する大変さを学びました。また、誰でも摘み取りやすいように、畑中さんが気を配って栽培したブルーベリーを前に、味の違いを確かめながら、色々な種類のブルーベリーをカップいっぱい収穫しました。

村田農園では、なぜ東通村が夏秋イチゴの栽培に適しているのか、ビニールハウスの蒸し暑さを我慢しながら、秋から冬にかけて獲れるイチゴとの違いや、大きく育てるコツなどを学びました。最後には、村田さんが特別に出荷前のイチゴをプレゼント。つめたく冷えた大きなイチゴにかぶりつき、努力の先にある収穫の喜びをかみしめました。

